

情報交差点・心と心の交わり

あじま～

歌は心、合唱は団結
自分たちで作り上げる合唱コンクール

大宜味村教育委員会
電話 44-3006
FAX 44-3020



大宜味中 校内合唱コンクール 開催

10月21日（土）、大宜味中学校体育館において令和5年度大宜味中学校校内合唱コンクールが開催されました。

生徒会テーマである「一人一人の個性を豊かに みんなで築き上げていこう 最高の大中クオリティー」を心に1年生「そのままの君で」、2年生「大切なものの」、3年生「手紙～拝啓十五のきみへ～」の自由曲を歌い上げ、見事3年生がグランプリに輝きました。

ベストコンダクト賞に2年生の下地偉生さん、ベストピアニスト賞に1年生の大湾心晴さんが選ばれました。

2学期に入りなかなか歌の練習が取れなかった生徒たちですが、生徒会や生徒たち、学級担任が力を合わせ、自分たちで時間を作って練習を重ねてきました。

合唱コンクール終え審査員の玉城晋先生（名護中教頭）は「合唱は楽しみながらやるもの。どの学年も楽しんで歌っていたので良かった。男女で発声のし方は違う。発声に気をつけられるともっと良くなる」と講評しました。

この日は合唱の他に音痴一ズによるダンスと歌の発表、2年生の下地偉生さんによるマリンバも披露され、会場を盛り上げました。

宮城研治校長先生は「地区発表会に向け、みんなで団結して心で歌う学校にしていきたい。自分たちで考えて大中クオリティーを高めていってほしい」と激励しました。

国頭地区音楽発表会は11月19日に行われます。地区発表会でもぜひ大中クオリティーを發揮し、会場を大いに盛り上げてきてください！！



1, 2年生 ダンス



3, 4年生 千変万化



令和5年度 第8回 大宜味小学校運動会



宇宙一の笑顔 全力パワー あきらめない最強の大宜味っ子

校歌ダンス



親子リレー

10月1日（日）、大宜味小学校において令和5年度第8回大宜味小学校運動会が開催されました。
「宇宙一の笑顔 全力パワー あきらめない最強の大宜味っ子」をテーマに児童たちはかけっこにダンスにエイサーに全力で取り組み、運動会の最後には全員で児童たちが新しく作った校歌ダンスを踊りました。

運動会を終え、児童会会长の宮城わらさんは「1、2年生のかけっこは一生懸命頑張って走っていて、ダンスも可愛かった。3、4年生の千変万化はリズムに乗って楽しんでいた。5、6年生のエイサーは今年しめ太鼓を加え、心を一つに頑張りました。校歌ダンスはもともと4つの小学校で行っていた校歌ダンスを参考にして作り、披露することができた。大宜味小学校の運動会はたくさんの方々の協力があって成功することができました。本当にありがとうございました」とあいさつしました。よく晴れた空の下、グラウンドには大きな声援が響き、たくさんの笑顔の花が咲きました。



たんぽぽ組



ちゅうりっぷ組



ひまわり組



ゆうな組



でいご組



令和5年度 おおぎみこども園 第4回運動会

9月30日（土）、おおぎみこども園において令和5年度第4回運動会が行われました。

園児たちは日頃の遊びや運動の成果を存分に発揮し、訪れた家族や地域の方を楽しませてくれました。

正しい知識と断る勇気を持って 大宜味中学校で薬物乱用防止教室

10月13日（金）、大宜味中学校多目的室において沖縄県薬物乱用防止協会北部支部指導員の前木秀治さんを講師に迎え「薬物乱用防止教室」が開催されました。



以前、麻薬取締官だった前木さんは薬物の種類や作用を紹介。大麻は覚せい剤のゲートウェイドラッグになっており、近年少年で捕まる人が増えてきていると話し、薬物は所持や使用、売買することでも逮捕されるが、使用したことで錯乱状態となり、暴力や薬欲しさに窃盗をすることで逮捕されると教えてくれました。また薬物を使用した人の事例や写真などを紹介し、どんな人でもやつたらやめられない、絶対に使用してはいけないと強く訴えました。

最後に前木さんは薬物を乱用しないために①正しい知識を持つ、②断る勇気を持つ、③誘惑に負けない、④困った時はすぐに相談する、⑤ルールを守ることが大切だと伝えました。

授業を終え、1年生の宮城瑚羽さんは「今日の話で薬物にはたくさんの種類があることがわかった。若い人でも使っている人がいること、沖縄でも売っていると聞いてびっくりした」と感想を述べました。

お知らせ 令和6年度 おおぎみこども園入園申込について

おおぎみこども園では令和6年度入園申込を下記の通り行います。

- 申込期間 : 令和5年11月1日（水）～12月15日（金）
- 申込対象 : 0歳（生後6ヶ月以上）～就学前の乳幼児
- 申込書類提出先 : おおぎみこども園 又は 大宜味村教育委員会
- 書類配布先 : 大宜味村教育委員会



申込提出書類

- ① 利用申込書
- ② 同意書
- ③ 申告書
- ④ 家庭で十分な保育が出来ないことを証明する書類



※2号認定、3号認定を希望する方のみ提出。

（就労・内職・自営・出産・病気・看護・求職活動等の証明書）

- ⑤ 対象児童の健康診断書（在園児は不要です。特に用紙の指定なし）

※令和5年1月1日時点に大宜味村に住所がない保護者の方は課税状況の確認のため、課税証明書の提出、又は、マイナンバーの提出が必要です。

※兄弟姉妹で入園申込みを希望される場合は、②・④は1部だけの提出で結構です。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 学校教育係 ☎0980-44-3006

9月20日（水）に琉球新報ホールにおいて開催された第55回女性の主張中央大会に国頭地区を代表して島袋未来さんが出場し、沖縄テレビ社長賞受賞に輝きました。ここで大会で島袋さんが発表した女性の主張を紹介します。

「ギフト」

大宜味村婦人連合会 島袋 未来



私が秋田から母の故郷である大宜味村へ越してきたのは中学生の時です。初めは、言葉や習慣の違いに戸惑うこともありましたが、地域の方に温かく受け入れてもらい、すぐに友達もでき、楽しい学校生活を送ることができました。

その十年後、進学のために離れていた大宜味村に戻り、社会人として働き始めた時、中学生の私に親身になって声をかけてくれた方は、職場の大先輩だったことを知り、思えばその頃から地域の支えと温かい見守りがあったことに気づくことができました。

私が地域の行事に関わるようになったのは、職場の先輩に誘われて青年会に入った事が始まりです。青年会活動では先頭に立って汗を流す先輩方の後ろについて、たくさんの方を教わりましたが、最初は怒られながらのスパルタ教育で、夏祭り前などは、準備に追われて、睡眠時間もほとんど取れないまま、職場に直行したこともあります。

精神的に幼かった私は、怒られながらボランティア活動をすることが、本心では嫌でたまらず、そんな気持ちは、言動にも表れていたと思いますが、それでも先輩方は私を見捨てることなく、行事が終わった後は、毎回励ましアドバイスをしてくれました。

そんな私でも、多くのイベントや行事を経験した後は、みんなの笑顔が見られるのが嬉しくて、また次も頑張ろうと思えるようになりました。厳しい反面、みんな本当に面倒見のいい、温かい先輩方でした。それはこの大宜味村の人達の特性だと感じています。

家庭をもち子供が生まれてからは、子供達と一緒に地域の一員として豊年祭に参加したり、部活動の保護者会での沢山の人との関わりを通して、地域の中で楽しく、子ども達と一緒に成長していくという気持ちが芽生えていました。

私の娘が中学三年生のこと、コロナが猛威を奮い、中体連等の学校行事は軒並み中止、一生の思い出になるはずの修学旅行まで中止となり、鬱々とした気持ちと出口の見えない不安を抱えたまま、子ども達にとって初めての大きな試練、高校受験が差し迫っていました。

そんな時、婦人会の先輩方と地域の方達がサプライズパーティーを開いてくれたのです。美味しい手作りのお菓子と心のこもった手書きのメッセージカードが、きれいにラッピングされ、一人ひとりに手渡されました。子ども達にとって、不安で苦しい受験生活の中での、幸せな時間、地域からの温かいエールはしっかりと届いたことでしょう。今でもそのメッセージカードは娘の机の上に大切に飾られています。

地域のために何かしたいと、声をかけたらすぐに反応する仲間がいる。婦人会という組織を軸に地域がしっかりと繋がっている。その底力とフットワークの軽さに、感動とありがたさで頭の下がる思いがしました。

そのような繋がりの一部になれたらと婦人会に加入した私ですが、十分な活動も出来ない状況で、何とワシントングローを授かったのです。気後れしている私に、「村の人口を増やしてくれてありがとう。また頑張れるときに一緒に活動しようね」と声をかけてくれた先輩がいました。魔法のようなその一言に、心の重荷はどこかへ飛んでいき、「大宜味村で良かった。幸せだな～」と感じた瞬間でした。

地域での活動や多くの方との交流は、職場の業務の中でも役立っているのだと感じことがあります。窓口に来たお客様に対して、どのように話したらわかりやすい説明ができるか、壁にぶつかった時にも、問題をいくつかの視点から見つめ直し、柔軟な対応ができるようになりました。

人を想い、地域を想う心は、先輩方が受け継いできた宝物、それはお金では買えない、この地域の中で、先輩方から私達が頂いた、「ギフト」だと今は心から思っています。

そのギフトを胸に、私の周りの人達を笑顔にできるように、家族のため、地域のため、人のために役に立てるよう、私なりの歩幅で頑張っていこうと思っています。

（紙面の都合により一部割愛）

技術習得を目指し鍛錬 琉大平織り研修

9月27日(水)～28日(木)、琉球大学において生涯学習講座「原始機で織る平織りコースター(織物研修)2」が行われました。

昨年、だれでも気軽に体験できる芭蕉布づくりを模索するため、琉球大学において織り機を使わない織りの方法を学ぶため研修を行いましたが、作業工程が予想以上に難しく1日の研修では作業の方法を覚えることができませんでした。今回は2日間しっかりと研修することで、原始機の作り方、作業工程を覚えることを目的に行いました。

原始機はホームセンターや手芸店、100円ショップなどで取り揃えられる道具で作成することができるものです。1日目は講師の仲間伸恵先生からしっかりと指導を受けながら、2日目には最初から自分たちで手順を踏みながら作業に取り組みました。作業をする中で、受講者たちは自分たちで活動を進める際にはどこで何を用意すればよいか、何を使ったらもっとわかりやすくなるかなど意見を出し合いました。2日間の研修を終え、受講者からは「永年織りに携わっている方に敬意を新たにした。大切な芭蕉布。地元の若い人たちがもっと関わるようにしてほしいと思う」などの声や「原始機に触れるのは40年ぶり。記憶も薄れていたが、今回の研修で再度織りのまねごとができるようになり感謝しています。糸のより方や横糸のつなぎ方についてもっと学びたい」、「昔ながらの原始機で自分がコースターを織れるなんてビックリ。まだまだ完全に習得できていないように思うので、仲間と一緒にユンタクしながら進めていこうと思う」の感想があがり、実りのある研修となりました。

今後練習を重ね、村民向けの講座開催につなげられるようにしたいと思います。



図書室情報

No.51 2023年(令和5年)11月

大宜味村図書室(旧議会棟:村史編纂係内)
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ2,783人
- 貸出冊数…4,769冊
- 登録者数…163人
- 現在の蔵書数…6,944冊

10月の統計(10/25まで)

- 来室者数…のべ84人
- 貸出冊数…138冊

11月図書室カレンダー 閉室日:

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

寄贈図書

『時間をもっと大切にするための

□『小さいノート活用術』高橋拓也著

□『アメリカンビレッジの夜』アケミ・ジョンソン著

□『小国民の戦争体験記』真栄田義弘著(遺稿)

□『給料の上げ方』デービッド・アトキンソン著

※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。体調の優れない方は、来室を控えてください。



新教育委員の紹介

10月1日より、大宜味住区の教育委員に大兼久の金城健さんが就任しました。金城さんは元高校の体育の教師で、昭和53年に辺土名高校を全国3位に導いたバスケットボール部のメンバーの一人です。大宜味村の教育の発展のため、ご助言、ご指導よろしくお願ひいたします。

～ 謝名城区 豊年踊(10月14日)～

10月14日(土)、謝名城区において令和5年度豊年踊りが行われました。

神をもてなす奉納踊りとして明治時代に始まった謝名城の豊年踊り。最初は男性のみで踊られてきましたが、戦後女性も加わるようになりました。本格的に始まったのは大正13年。昭和30年代までは毎年行われてきましたが、今では1年越しに行われています。

今年4年ぶりの開催となった豊年踊り。踊り役者と区民が総出で行う道ジュネーは公民館から出発し根謝銘、一名代、城を回り、最終地の城クランマーで神人が迎え、カチャーシーで終わり、クランマーでは長者の大主、ながらたー、上り口説の3演目が奉納されました。夕方からは太鼓の音に合わせ婦人による七月ディーが行われ、その後、男性も加わりエイサーが行われました。

午後7時からは公民館ホールで豊年踊りが披露されました。謝名城独自の七福神や平和、高砂に加え、子どもたちによる海のチンボーラー、谷茶前なども行われ最後はお客様も一緒にカチャーシーとなり大盛況で終わりました。



誰もが幸せな社会に…自分を知ることから始める 大中道徳授業

10月17日(火)、大宜味中学校において村内で同性のパートナーと家族を作つて暮らしているmatoさんを講師に招き、道徳の授業1年生「自分のことを知ろう」、2年生「自分のことについて考えよう」が行われました。

ここ最近よく見、聞くようになったLGBTQですが、なんとなくしかわかっていないなかった生徒たち。その意味についてmatoさんから1つ1つ丁寧に教えてもらった生徒たちはLGBTQ+の中にある+についてどのようなものがあるのか調べ、班でまとめました。生徒たちから上がってきた+にはmatoさんも知らないものもあり、改めて性の多様性の多さに気づかされました。

また、現在38歳のmatoさんは30歳になるまでカミングアウトできなかったと話し、なぜ言えなかったのか、みんなで考えました。生徒たちからは「そもそも言えない」、「差別を受けてしまうのでは?」、「相手にどう思われるか心配」、「言っても理解されない」、「言う必要がない」、「昭和の時代は言えない、ありえないことだったけれど、令和の今では言えるのでは」などの意見があがりました。

授業の最後にmatoさんはセクシャリティについて「私の『いちぶ』でも自分で決めていない」、「カミングアウトは本人主体」で、いつどのタイミングで誰にするのかしないのかは本人が決めること、私たちはまず「知ること環境を整えること」から始め、性の多様性を知って受け止めようとしてすることだと伝えました。

今回の授業を終え、matoさんは「一方的に伝える講演会ではなく、生徒たちがどう感じたか反応が見られる授業という形にしてもらってよかったです。学年でも出てくる意見が違う。生徒たちから出てきたカミングアウトできない理由にうちあたいるものがあった。次回の授業でも丁寧に伝えていきたい」と話してくれました。



～福地曠昭氏の著作一覧～

- 『戦後20年・教育の空白一本と沖縄の比較』 沖縄教職員会 1965年5月
- 『教育・復帰に備える』(▲) 沖縄県教育振興会 1969年11月
- 『沖縄の公害 その実態と対策』(▲) 沖縄県公害防止対策協議会 1971年4月
- 『公害と住民運動一公害を追放しよう』(▲) 沖縄県公害防止対策協議会 1971年10月
- 『文革後の中国の教育』(▲) 沖縄県教職員組合 1972年9月
- 『沖縄の選挙 企画から運動までのすべて』(▲) 革新共闘会議 1973年2月
- 『平和への沖縄の道』 革新共闘会議 1973年2月
- 『復帰後の公害問題』(▲) 沖縄県公害防止対策協議会 1973年3月
- 『写真で見る公害の現状』(▲) 沖縄県公害防止対策協議会 1973年9月
- 『へき地の教育 実態と振興策』(▲) 沖縄県へき地教育連盟 1974年2月
- 『公害おきなわ』(▲) 沖縄県公害防止対策協議会 1975年4月
- 『村と戦争—喜如嘉の昭和史』『村と戦争』発行会 1975年12月
- 『牲(にえ) 戦後米軍犯罪の記録』 フクチさんを励ます会 1977年5月
- 『喜如嘉の墓制と葬制』 自家版 1978年1月
- 『沖縄のい草』 青い海出版社 1978年10月
- 『沖縄の混血児と母たち』 青い海出版社 1980年7月
- 『大宜味のむかし話』 大宜味村教育委員会 1980年9月
- 『沖縄の被爆者』 那覇出版社 1981年5月
- 『沖縄戦の傷痕 その痛みと怒り』(▲) 沖縄県戦争傷害者の会 1981年6月
- 『ふあるやま イギミの里・地名考』 那覇出版社 1983年2月
- 『糸満売り一実録・沖縄の人身売買』 那覇出版社 1983年6月
- 『産婆さん』 ひるぎ社 1984年8月
- 『沖縄女工哀史』 那覇出版社 1985年3月
- 『防衛隊 秘録沖縄決戦—左手に竹槍 右手に銃』 那覇出版社 1985年5月
- 『哀号(アイゴウ)・朝鮮人の沖縄戦』 月刊沖縄社 1986年6月
- 『少年護郷隊ースパイ遊撃隊による山中ゲリラ戦』 沖縄時事出版 1987年2月
- 『命まさい—徴兵を忌避した沖縄人』 那覇出版社 1987年11月
- 『沖縄の鍛冶屋』 海風社 1989年6月
- 『燃える海—輸送船富山丸の悲劇』 海風社 1989年10月
- 『オキナワ戦の女たち—朝鮮人従軍慰安婦』(▲) 海風社 1992年8月
- 『インジャー身売りと苦役』 那覇出版社 1992年9月
- 『基地と子ども』(▲) サザンプレス 1992年10月
- 『米軍基地犯罪 いまも続く沖縄の悲しみと怒り』(▲) 労働教育センター 1992年10月
- 『教育戦後史開封 沖縄の教育運動を徹底検証する』 閣文社 1995年6月
- 『沖縄における米軍の犯罪』(▲) 同時代社 1995年11月
- 『基地と環境破壊 沖縄における複合汚染』 同時代社 1996年11月
- 『農兵隊 鍔の少年戦士』 那覇出版社 1996年11月
- 『基地と人権 沖縄の選択』(▲) 同時代社 1999年4月
- 『沖縄の幽霊 沖縄の幽霊百景+20話』 那覇出版社 2000年9月
- 『沖縄史を駆け抜けた男 福地曠昭の半生』 同時代社 2000年10月
- 『沖縄の大工 現代建築の源流く木・舟・三味線大工の探究とその物語』 閣文社 2001年2月
- 『美(うま) し国ベトナム 日越友好30周年』 琉球新報社 2003年9月
- 『喜如嘉の墓と葬式』 自家版 2004年1月
- 『つりと海—今昔物語』 那覇出版社 2006年6月
- ※(▲)以外の書籍は大宜味村図書室で閲覧・貸し出しができます。ご利用下さい。



一沖縄史を駆け抜けた男

福地曠昭氏が遺した貴重な資料の寄贈がありました！

かねてより寄贈の申し出があった、故福地曠昭氏(喜如嘉出身)のご自宅(恩納村)をお訪ねし、膨大な資料を見せていただくと共に、その中から、大宜味村関係の貴重な資料数十点をご寄贈頂きました。

波乱万丈を地で行く福地氏の経歴をたどれば、おのずとその人となりを理解していただけると思うので、手短に紹介します。

1949(S24)年辺土名高校を第4期で卒業、沖縄外語学校を経て国頭中学校教諭、その後、琉球臨時中央政府主席事務局勤務、辺土名高校教諭を経て沖縄朝日新聞社で記者として駆け出すも人員整理にあい退社、向学心に抗えず1956(S31)年青山学院大学に進学。

夏休みで帰省中、東京での復帰運動を反米運動と見做したCIC(米軍諜報部隊)に拘束され本土渡航を禁じられたため、

大学も中退に追い込まれる。

転機は1956(S31)年、沖縄教職員会の屋良朝苗会長の下で働くようになってから。米軍の土地接収に抗する島ぐるみ闘争の最中であり、日米安保改定や沖縄県祖国復帰協議会の結成、アイゼンハワー米大統領来沖という激動の時代を、屋良朝苗の懐刀・調査研究部長として復帰運動に心血を注ぐ。そして、戦後の沖縄を創ったといわれる屋良朝苗行政主席、喜屋武真栄参議院議員の誕生にも貢献した。

1967(S56)年には暴漢に襲われ太腿貫通の重傷を負い一時は生死の境をさまよう。

1983(S58)年には「沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会」を立ち上げ8,889万円の寄附を集め、米・英に眠る約11万フィート(約50時間分)に及ぶ沖縄戦実写フィルムを購入、記録映画を作り各地で上映会を開催し“命どう宝”という不朽の平和思想を定着させた。また、沖縄人権協会を設立し県民の人権擁護にも尽力。

まさに戦後沖縄史を駆け抜けた多彩な経歴に加え、筆が早く50冊以上の著書を世に出しています。今回の寄贈は、「県に全て寄贈する前にぜひ大宜味村に見てもらい活用してほしい」と

いうご家族のお心遣いにより実現したもので、氏が執筆のために調査、収集した喜如嘉の調査ノート・喜如嘉の方言一覧・屋号調査・大宜味村遺族者名1985年・戦時中の喜如嘉区の資料など、戦中・戦後の村の状況を知ることができる重要な資料ばかりです。今後の村史編纂に活用するとともに、偉大な先輩方の足跡を伝えていきたいと思います。



福地曠昭氏(2016年2月23日来訪時)



分類、仕分けされた膨大な資料に圧倒される

生前のままの書斎には使い込まれた机と万年筆。ここからどれだけの著書が紡がれたのだろう



政信教育長のあじま～コラム

「文部科学省唱歌で思うこと」

沖縄でも秋の気配を感じる季節になりました。秋の深まりとともにテレビでは本土の美しい紅葉の映像が毎日のように届けられ、その美しさに見とれてしまいます。紅葉の映像を見ると、いつも頭をよぎるのは「秋の夕日に照る山もみじ～」で始まる「もみじ」の歌です。「もみじ」は文部省唱歌（現在は文部科学省唱歌）として長年歌い続けられ、愛されてきた歌で、今でも小学校の教科書にあります。各学年の音楽には共通教材として、だいたい4曲ぐらいの文部科学省唱歌がありますが、みなさんがご存じの「ふるさと」や「ふじ山」「スキーの歌」「里の秋」「春の小川」などもそうです。

さて、この文部科学省唱歌については、子どもの頃は歌詞の意味も考えず何気なく歌っていたのですが、改めてじっくり歌詞を見てみると素晴らしいものがあります。もみじの歌詞にも「松を彩るかえでやつたは、山のふもとの裾模様」「赤や黄色の色様々に水の上にも織る錦」など美しい情景を想像できるような歌詞があります。曲調にも、どことなく郷愁を感じさせてくれます。また、同窓会などでよく歌われる「ふるさと」の「兎追いしかの山、小鰐つりしかの川」「いかにいます父母、つつがなしや友がき」などの歌詞には、なつかしい故郷の風景とともに父母、友を思う感情もこみ上げてきます。音楽は情操教育の一つです。特に文部科学省唱歌は、歌詞や曲調に日本らしさが感じられ、その曲自体が詩の意味も曲も含めて心の教育になっていると思います。そして、今の時代、今の子ども達に特に必要だと思っています。このような歌はいつまでも大切にし、残していきたいものだと思います。

今月の生きもの

←アマミヤマシギ・→ヤマシギ：シギ科

こんばんは♪私アマミヤマシギです。

今の時期、夜のやんばるで出会うことが多いかも。

私は沖縄で留鳥となっているけれど、5～8月はほとんど見られません。冬鳥のヤマシギも同じ時期によく確認されるの。私たちの見分け方は、脚と顔かな？ 私の方がスマートで足が長く見えるはず。顔はヤマシギは目が後頭部に近い所にあって私はバランスよい位置に目がある感じ♪



撮影：村山望

11月の行事予定

1日（水）区長会（小）修学旅行	～2日	18日（土）県民体育大会	～19日 県中体連駅伝大会
2日（木）（園）地震・津波避難訓練		19日（日）（中）地区総合文化祭・地区音楽発表会	
3日（金）文化の日		20日（月）（中）振替休日（11/19 文化祭）	（小）地区クリーンアップ作戦
4日（土）わんぱく体験団⑤	地区中体連駅伝大会	21日（火）（園）避難訓練	11月 17日
7日（火）（小中）地震・津波避難訓練		22日（水）定例教育委員会議	
8日（水）地区小中童話・お話・意見発表会		23日（木）勤労感謝の日	
10日（金）（園）秋の遠足		25日（土）県民体育大会	～26日
11日（土）ツール・ド・おきなわ	～12日	中体連地区新人	～26日
スターリースカイ（秋編）		26日（日）（小）日曜授業参観・きらめき発表会	
13日（月）（中）修学旅行	～15日	27日（月）（小）振替休日（11/26 授業参観）	



将棋の日